

5月の赤十字運動月間～多くの方に赤十字の活動を知ってもらいたい～
県内各地でイベントキャンペーンを開催!赤十字親善大使のグランパスくんも
赤十字のPR活動をお手伝い!5月8日の世界赤十字デーにあわせて
名古屋テレビ塔をレッドライトアップ!赤十字奉仕団も県内各地で
キャンペーンを実施しました!名古屋第二病院赤十字の病院祭には、
たくさん子どもたちが遊びに来てくれました!

Contents

クローズアップ

トピックス

愛知県支部130年のあゆみ

～これまでも、そして、これから「苦しんでいる人を救う」という理念とともに～

愛知県支部 平成28年度歳入歳出決算の概要

赤十字運動月間にご協力ありがとうございました!

名古屋グランパス選手会が熊本地震義援金を寄付

インドネシア語、ポルトガル語を使った救急法短期講習を実施!

日本一高い献血ルーム、JRゲートタワー26階にOPEN!

名城大学薬学部青年赤十字奉仕団

愛知県支部 平成28年度歳入歳出決算の概要

6月16日(金)、愛知県支部大会議室において平成29年度日本赤十字社愛知県支部評議員会を開催しました。評議員会では、平成28年度一般会計の決算について審議され、承認されました。

歳 入	
①社資収入	1,096,658,667 円
②補助金及び交付金収入	24,166,333 円
③資金・他会計繰入金・資産収入	1,923,696 円
④雑収入	29,641,261 円
⑤前年度繰越金	126,333,601 円
合 計	1,278,723,558 円

このうち 159,723,455円は翌年度に繰り越されました。

歳 出

①災害救護事業と救護看護師の養成に	427,740,627 円
②救急法や健康生活支援講習などの普及に	48,767,606 円
③赤十字ボランティアの活動と育成に	47,565,338 円
④青少年赤十字の育成と普及に	41,005,438 円
⑤社会福祉事業などに	9,580,606 円
⑥血液事業の普及啓発に	5,873,235 円
⑦国際的な活動に	7,468,056 円
⑧広報・活動資金募集のために	93,124,935 円
⑨赤十字病院救急医療体制の整備に	104,726,282 円
⑩市町村における赤十字活動に	99,971,487 円
⑪全国的な赤十字活動に	124,774,810 円
⑫支部の運営に	108,401,683 円
合 計	1,119,000,103 円

赤十字運動月間にご協力ありがとうございました!

5月は赤十字活動へのご理解とご協力を呼びかける赤十字運動月間として、県内各地で赤十字奉仕団などによるイベントの開催やPR活動を展開しました。また、イオンリテール株式会社様やユニー株式会社様のご協力による、県内各地の店舗での赤十字運動月間ポスター掲示や、放送各局のご協力によりテレビ及びラジオでの赤十字CMを放送いただきました。

また5月8日の世界赤十字デーにあわせ、今年も日本赤十字社では全国各地の公共、民間施設をレッドライトアップする「ライトアップ運動2017」を実施。愛知県支部では名古屋テレビ塔をレッドライトアップするとともに、5月7日にはハートラちゃん、けんけつちゃん、そして赤十字親善大使のグランパスくんがゴールデンウィークで賑わう栄と大須で、ライトアップと運動月間を多くの人に呼びかけました。

県内各地で開催したイベントでは、多くの方々に赤十字活動への理解を深めていただくとともに、皆様から赤十字への応援メッセージもたくさんいただきました。

大須での街頭イベント。ハートラちゃんの登場に
大喜び!

クロスサポーターに聞く!

No.22

名城大学薬学部
青年赤十字奉仕団の皆さん

日本赤十字社愛知県支部とタイアップし様々な活動に取り組む企業や団体、人(クロスサポーター)を紹介します。今回のクロスサポは、名城大学薬学部青年赤十字奉仕団の皆さんです。

名城大学薬学部青年赤十字奉仕団は、毎週水曜日に「やごとひよこ隊」として名古屋第二赤十字病院小児病棟で入院している子どもたちと一緒に工作やゲームをするボランティア活動を約50年にわたり継続しています。今回は、多忙な学生生活の中でボランティア活動をする学生たちに話を聞きました。

ボランティアサークルに入ろうと思ったきっかけは?

今回インタビューさせてもらったのは、「やごとひよこ隊」で活動する1年生から3年生の5名の学生たち。最初に、大学内に数多くあるサークルの中で、ボランティアサークルに入ろうと思ったきっかけを聞きました。「小学生の頃からボランティア活動をしていて、大学生になってもボランティア活動を続けたい気持ちが強かったのが一番の理由です。」と話すのは3年生の須田芽香奉仕団委員長。一方、「大学生になって、何か新しいことをしてみたいと思って、選んだのがボランティア活動でした。」と話してくれたのが同じく3年生の八杉美咲さん。1年生の村上香菜さんは、「小さい頃から妹の面倒を見たり、一緒に遊んだりしてきた経験を、ボランティア活動に活かしたいと思ったからです。」と話し、2年生の柳原勇志さんと1年生の水野友貴さんは、「現在、薬学部に所属していることもあり、少しでも医療現場に携わりたかったことや、ボランティア活動を通じて子どもたちと話せる機会がとても貴重な経験だと思ったからです。」と話していました。

左から水野友貴さん、柳原勇志さん、
八杉美咲さん、村上香菜さん、須田芽香さん

「やごとひよこ隊」の活動で心掛けていることや、印象に残っていることは?

「やごとひよこ隊」の活動では、病院内で雑談をしないなどのいくつかのルールを決めて活動しているとのこと。ただ、学生たちが一番心掛けていることは、自分たちと一緒に工作やゲームをする時間が、子どもたちにとって日常に戻れる時間となってほしいという思いを持ち続けて活動すること。「決してボランティアで遊んであげているという考えではなく、子どもたちが私たちと一緒に遊んでくれていて、自分自身もその時間を楽しんでいるから、子どもたちも心から楽しんでくれるのだと思います。」と八杉さん。「テスト前などで忙しい時は、活動に参加するが忙しむ時もありますが、実際に参加して子どもたちと触れ合うと、子どもたちの笑顔に喜びを感じて、逆に子どもたちから元気をもらっています!」と須田委員長は話していました。

今後の活動について

今後の「やごとひよこ隊」について、1年生と2年生の思いを聞きました。「これまで、先輩たちが自分たちを引っ張ってくれたように、今後は自分たちもボランティア活動を通じて様々な経験を積んで、「やごとひよこ」隊を引っ張っていけるよう頑張りたいです!」と3人とも答えてくれました。そして、「やごとひよこ」隊の活動が残りの3年生の2人からは、「私たちのボランティア活動は、3年生までの学生が活動することになっているので、「やごとひよこ隊」の活動も、もう残り数ヶ月となりますが、4年生の間はもちろん、卒業後も「やごとひよこ隊」の活動を見守り続け、時には後輩たちから相談される立場でいたいと思っています。」と須田委員長。「このサークルに入る前までは、赤十字といえば病院や献血のイメージしかありませんでしたが、活動を通じて赤十字が様々な事業をしていることが分かりました。私は卒業後も、献血やボランティア活動などで、赤十字に関わっていきたいと思っています。」と八杉さんは話してくれました。

名城大学薬学部青年赤十字奉仕団は、一昨年末までは53名だった団員が、現在は100名ほどに団員が増えたとのこと。同奉仕団は、「やごとひよこ隊」の活動の他にも、愛知県赤十字血液センターで親子献血教室を開催したり、市内の区民まつりで赤十字の活動を紹介するブースを出展するなどの活動をしています。今後も、愛知県支部ではこうした学生たちのボランティア活動を公式HPやツイッターなどで紹介いたします。

名古屋グランパス 磯村選手、矢田選手が愛知県支部を訪問!選手会からの熊本地震義援金を寄付

4月12日、愛知県支部とパートナーシップ協定を結ぶ名古屋グランパスから、4月1日(土)に豊田スタジアムで開催されたロアッソ熊本戦で、名古屋グランパス選手会が主催した熊本地震復興支援活動で集めた義援金810,419円を受け取りました。この日は、名古屋グランパス選手会会長の磯村選手、副会長の矢田選手が愛知県支部を訪問し、同義援金が当支部の服部事務局長に手渡されました。

選手との対談では、当支部の職員から、今後も日本赤十字社と名古屋グランパスが協働で、被災地支援を呼びかけ、過去の大規模災害を風化させず、継続して防災啓発や義援金の協力を呼びかけることをお願いしました。

選手会長の磯村選手は、「大きな被害があった過去の震災も、時間が経つと記憶が薄れてしましますが、これから名古屋グランパスの選手全員で、復興支援を続けていきたいと思っています。今回の復興支援活動には多くの方に参加していただきました。今回協力いただいた義援金が、今もなお被災地で苦しんでいる方のために役立てられればと願っています。」と話していました。

愛知県支部では今後も名古屋グランパスと様々な協同事業を展開し、スポーツを通じた社会貢献活動に取り組んでまいります。

インドネシア語、ポルトガル語を使った救急法短期講習を実施!

6月4日、豊橋市で3人の外国人指導員が、母国語となるインドネシア語とポルトガル語を使って、地元地域に暮らす外国人住民を対象に、ケガの手当や心肺蘇生の方法を伝える救急法短期講習を実施しました。講習には、10名の外国人住民が受講。人が倒れていた際に「だれか来てください!」、「119番通報をお願いします。」といった日本語で周囲の人に助けを求めることの必要性も説明しました。

受講生からは、「慣れ親しんだインドネシア語による講習で、とても分かりやすかったです!そして、疑問に思ったことも、すぐに母国語で質問して確認できるのが良かったです。」といった感想や、「今日は、新しいことを学びたいと思い講習に参加しました。講習を受けてみて、災害時だけでなく、日常でも役立つ知識が身につく、とても勉強になりました。いざ何か起きたとき、日本語が分からなければと逃げるのではなく、他の外国人住民も防災減災の技術や知識を身につけて欲しい。」との感想がありました。

今後も愛知県支部では、県内各地の関係機関と連携し、防災減災分野を皮切りにした多文化共生社会の実現を図ります。

日本一高い献血ルーム、JRゲートタワー26階にオープン!



「空と自然」をテーマに、やすらぎと開放感を感じる献血ルームです。

4月20日、献血ルームゲートタワー26がオープンしました。地上124メートルで、日本一高い献血ルームということで、オープン初日から多くの献血者にお越しいただき、各メディアにも取材いただきました!献血者の方からは、18:45まで献血受付を行っているため、仕事や学校帰りにも立ち寄りやすいとの声も!献血後のプレミアムコーヒーとドーナツのサービスや、素晴らしい展望のほかにも、また献血に行きたくなる工夫がたくさんある献血ルームです!ぜひ、皆様のお越しをお待ちしています!



フロッグポ!

特別編 No.9

名古屋オーシャンズ選手が試合で着用したユニフォームオークションの売り上げの一部を日本赤十字社愛知県支部へ寄付!



6月18日に開催されたホーム開幕戦の試合前に、名古屋オーシャンズベドロコスタ監督から、愛知県支部の山田企画振興部長に活動資金が手渡されました。

今シーズンも
赤十字マークの
入ったユニ
フォームでプ
レします!

名古屋オーシャンズHP: www.nagoyaoceans.com

第11節 8月20日(日) 14時キックオフ
Vs.エスボラダ北海道第12節 8月27日(日) 14時キックオフ
Vs.ベスカドーラ町田

関口 優志 選手



INFORMATION インフォメーション

●本・CD・DVD・ゲームを集めて、赤十字に寄付いただけませんか？



日本赤十字社 愛知県支部 × BOOK・OFF Online
Japanese Red Cross Society

愛知県支部でボランティア宅本便をはじめました！

〈ボランティア宅本便とは・・・〉

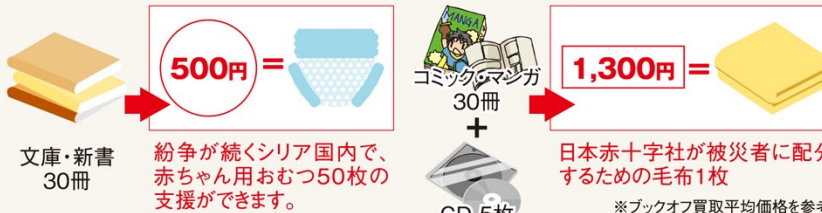
読み終わっていらなくなった本、聞き飽きたCD、遊び終わったゲームソフトなどを捨ててしまうならば、誰かの笑顔のために役立てていただけませんか？
ボランティア宅本便は、そんな方々の気持ちを日本赤十字社とブックオフが提携し、ブックオフにお売りいただいた代金が日本赤十字社愛知県支部の活動のために寄付されるものです。



お申込みはとっても簡単！！



～あなたの支援が、国内外で苦しむ人々の支援につながります～



ボランティア宅本便に関するお問い合わせ先 愛知県支部企画業務課：TEL052-971-1592



ボランティアリレー！

このコーナーでは、ボランティアとして活躍する奉仕団をリレー方式で紹介していきます。

愛知県赤十字救急奉仕団

●活動紹介
愛知県赤十字救急奉仕団は、救急救急員の資格を活かして社会に貢献するために発足して、今年で40年目になります。
主な活動としては、東山動物園で多くの方が来園される春と秋ごろを中心に、年間約50～60日、園内2ヶ所で臨時救護所を開設しています。東山動物園は、国内第2位の入園者数で、今年80周年を迎えました。約40年間継続してきた救護活動は、園からの信頼も厚く「あなた方がいるだけで安心です」という言葉をいただいたり、また、傷病者から「ありがとうございます」との言葉をいただいたときは、とても嬉しくて、励みになります。こうした実践活動をする中で、その場に応じた手当が身につく、いざというときに応急手当ができるので、団員たちは家庭や職場、地域でも、「心強い」と頼りにされています。
救護活動の他にも、愛知県支部を支援する業務として、日赤あいち、赤十字新聞など情報誌を発送する作業などを毎月実施しています。

●私たちのイチオシポイント！
これまでの発生した大災害からの教訓として、赤十字職員や他の奉仕団メンバーと連携し協働することの重要性を学びました。
普段から顔の見える関係を作っておくことが大切であることから、防災ボランティア養成研修会にも積極的に参加するとともに、東山動物園での赤十字運動月間キャンペーンでは、安全・無縁奉仕団や地域奉仕団、青年赤十字奉仕団合同で実施しています。
さらに、地域イベントにも参加して地域奉仕団とも交流しながら活動の輪を広げ、お互いに情報交換をしながら大規模災害に備えて研修・訓練を重ねてまいりたいと考えています。

今回は弥富市赤十字奉仕団へバントタッチ！

次は「弥富市赤十字奉仕団」の皆さんです。弥富市赤十字奉仕団は、定期的に炊き出し訓練を行い、地域の防災訓練で指導できるよう活動されています。よろしくお願ひします。



ご協力感謝申し上げます 日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として 多額のご寄付をいただいた法人様

- 株式会社不二機販様 ●三協化成産業株式会社様 ●有限会社清光様
- 株式会社ミニミニグループ様 ●一般財団法人坂文種報徳会様

●400mL複数回献血キャンペーンが始まりました！

期間中に、400mL献血に2回ご協力いただいた方へハローキティオリジナルピンズをプレゼント。詳しくは愛知県赤十字血液センターのホームページをご確認ください。 <http://www.aichi.bc.jrc.or.jp/>



●日本赤十字豊田看護大学オープンキャンパス

日本赤十字豊田看護大学では、7月22日(土)と8月18日(金)の二日間(いずれも10:00～15:00)、オープンキャンパスを開催します。当日は在学生による入試相談コーナー、体験デモンストレーション、模擬授業など様々なプログラムを予定しております。看護師の仕事に興味がある高校生の皆さんや志望校を検討中の受験生の皆さんは是非お越し下さい。



日時：平成29年7月22日(土)・8月18日(金)10:00～15:00
場所：日本赤十字豊田看護大学(豊田市白山町七曲12-33)
本学ホームページからお申込み可能です。
(<http://www.rctoyota.ac.jp/>)
お問い合わせ先 企画・地域交流課 TEL 0565-36-5228(直通)



PRESENTS プレゼント

名古屋グランパス
佐藤寿人選手、玉田圭司選手、
田口泰士選手、植崎正剛選手の
直筆サイン色紙を
5名様にプレゼントします。



下記項目を明記の上、メールやFAX、ハガキなどで8月31日までに当支部へご応募ください。

- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢
- ⑤日赤あいちの入手先 ⑥ご意見・ご感想など

応募先
メールアドレス aichi-koho@aichi.jrc.or.jp
FAX 052-971-1590
郵便 〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50
日本赤十字社愛知県支部
日赤あいちプレゼント係



クロースアップ

愛知県支部130年のこれまで

これまでも、そして、これからも

「苦しんでいる人を救う」という理念とともに



平成28年熊本地震災害
救護員の派遣とともに、救援物資を被災地へ



愛・地球博に国際赤十字・赤新月
パビリオンを出展。およそ47万人
が来館。



東海豪雨
自衛隊のポート避難所へ向かう救護班



中華航空140便墜落事故
事故発生後、直ちに救護班を派遣



東日本大震災
愛知県内から救護員約400名を派遣



豊田看護大学開学



阪神淡路大震災
愛知県内から救護員約300名を派遣



日本赤十字社名誉副総裁三笠宮妃殿下をお迎え
して、愛知県支部創立100周年記念大会を開催。

日本赤十字社名古屋委員部が創立。
その後1903年(明治36年)に愛知支部に改称。

日本赤十字社結核撲滅準則
に基づき、愛知県八事療養所
(現名古屋第二赤十字病院)
が開設。

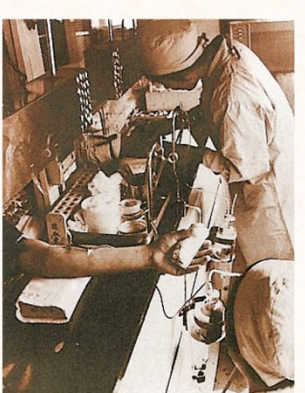


開設当時の八事療養所

県内における救護看護婦の
養成が望まれる中、日本赤十
字社愛知支部病院(現名古屋
第一赤十字病院)が開設。



開設当時の愛知支部病院



名古屋第一赤十字病院内
に、愛知県赤十字血液銀行
を開設。



ベトナム難民救護の一環として、
難民収容施設「希望の家」を設置。

1891



甚大な被害をもたらした濃尾大地震
が発生。県内各地で救護活動を実施。
小折村(現江南市)の本部仮病院

1914

1931
～45

日華事変から第二次世界大戦終了までの戦
時救護では多くの殉職者を出した大規模な
救護活動となった。北は満州、南は太平洋の
諸島まで広い範囲に救護班を派遣。



病院船の甲板上で慰う傷病兵と共に

1937

1959

伊勢湾台風
災害発生と同時に救護活動を開始。
全国から約2,200名の救護員が派遣。



1962

1980

明治20年に日本赤十字社名古屋委員部として発足した日本赤十字社愛知県支部は、今年で130周年を迎えます。
「戦時救護」から始まった活動は、「災害救護」そして「人道支援」を中心とする事業へと転換してきました。今後も愛知県支部では、「苦しんでいる人を救う」という理念のもと、様々な事業を展開いたします。
また、今年の12月12日には、日本赤十字社愛知県支部創立130周年記念大会を開催いたします。
大会については平成30年1月号でご報告する予定です。